



新春を迎えて

二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊
平成23年1月20日発行
(第71号)

二松学舎大学父母会

(本部)東京都千代田区三番町6番地16
(事務局)千葉県柏市大井2590
〒277-8585 TEL 04(7191)8756

二松学舎大学柏事務局

題字は
故 観山貞廣常吉先生書



父母会長 桐原利之



新年明けましておめでとうございます。全国の会員の皆さま、佳き新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

今年は平成がもう二十三年です。前学長が四年生の入学式のとときに「平成生まれが入学してきた」と感慨深げに祝辞を述べられていましたが、今や圧倒的多数は平成生まれの学生となりました。四年生の親として改めて時の流れの早さを感じております。そしてあの時、四年後、就職でこんなに多数の学生が苦しむと思ってもみませんでした。

もはや昔の日本のように、元気で、右方上がりの状況を望むべきものではありませんが、せめて就職したいという若者が就職できるように頑張ってほしいと思っています。若者が定職につけなかったら、年金も健康保

険も少子化問題も皆だめになつていくのは誰でもが分かっていることです。政府は最重点施策として若者(新卒生)の就職対策をやるといっていますが、ぜひ有効な施策を講じてほしいと思います。

先日、父母会の奨学生募集で応募者の面接に参加しました。二、四年生までの教員志望の学生たちで、一生懸命の生き方を聞いて、その健康さに目頭が熱くなりました。なんとか希望の教員になつてほしいと念ぜずには居られませんでした。

父母懇談会で現学長がこんな社会情勢でも二松学舎大の学生の座席は必ずあるから頑張つてほしいと述べられておりましたが、私もそう思います。「二松学舎大学の四年生の就職希望者は全員内定をもらつていた」という初夢が、三月二十五日の卒業式でじつは本当だったとならないかなと念じています。

十一月の創縁祭の父母会休憩所に来られた父母会の会員さんから、過分のお誉めの言葉や激励の言葉をいただきました。今年度の父母会もあと数カ月、父母会で出来る学生への支援とは何なのかを考え、心して父母会活動に取り組んで行きたいと決意しております。

若者が希望を持つて生きられる社会を創るといふのは大人の責任です。

皆様、新年明けましておめでとうございます。いまほど大学教育の危機が叫ばれているときは未だかつてないと言われ、いろいろなところで大学改革の問題が論じられています。

現代における大学改革は教育の自身の改善であり、「教育の質」の向上の問題です。これまでの大学改革は教育制度に関わるものであり、政府のイニシアチブで進められました。そのため大学は政府の指示に従って改革を行えばよかったです。

しかし、大学教育の自身の改善という大学改革には大学のイニシアチブが求められます。この点が、現代の大学改革が以前の大学改革と大きく異なる点です。

九段集約を契機に、二松学舎大学は九段キャンパスを拠点に都市型大学として教育研究活動を展開していくことを決意しました。がしかし、本学が九段という都心に位置する都市型大学として名実ともに素晴らしい大学へ発展していくためには、先ず何よりも「教育の質」の向上を図り、教育研究活動を、規模と質の両

面において、より一層盛んにすることが必要です。そこで平成二十二年十二月から平成二十二年十一月にわたり、大学改革検討会議（議長・佐藤保顧問、委員・教員十名、職員六名）において、大学院文学研究科、大学院国際政治経済学研究所、文学部、国際政治経済学部における教育の自身の改善に向けた施策が論議され、平成二十二年十一月に改革案が理事長への答申という形で出されま



年頭所感

二松学舎大学の改革

二松学舎大学

学長 渡辺和則

した。これを受けて、平成二十二年十二月から学長の下で、大学改革についての具体的な検討が始められました。平成二十三年十二月までには、改革の具体的な内容がまとめられ、遅くとも平成二十五年四月から実施されることになっています。

いま私たちが目指す二松学舎大学は、学生諸氏が自分の能力を伸ばし、人間として成長できる大学です。今回の大学改革はそのための改革です。

物流、人の交流等々、枚挙に暇がありません。日本も変化しています。政権が替わり、政府のあり方が変わり、私たちを取り巻く環境も大きく変わっています。それに伴う人々の価値観の変化と多様化、そして生活が変わりました。卑近な例では、日用品も随分変わりました。社会は老

齢化が進んでいます。わずか十年前と比較してみても変化は驚くばかりです。

事を改めようとする場合、意見の衝突・対立は必然であり、改革は直進的には進まないことは覚悟しています。しかし一歩の逡巡も許されません。

私は本学の創立者の三島中洲先生の師である山田方谷の三つの言葉を心の拠り所として、今回の大学改革に取り組みたいと考えています。（山田琢「山田方谷の理財論とその周辺」「陽明学」二松学舎大学、創刊号）

一九八九年、一五―一三六頁を参照）

一、総じて善く天下の事を制する者は、事の外に立って、事の内に屈しない」

すなわち、大事を成し遂げようとするならば、全体を見通す識見を持つて大局の視点に立って（事の外に立って）、一事にかかずらわって全体を見通す識見を持たないことのないようにして、全体の最適を考えよう（事の内に屈しない）、という意味

です。

二、「至誠惻怛（しせいそくだつ）」すなわち、まごころ（至誠）と、人の気持ちを慮る心（惻怛）があれば、物事をうまく運ぶことができる、という意味です。

三、「義を明らかにして利を計らず」すなわち、理念・目標（義）を明確にして事を行えば、おのずと結果（利）はついてくるという意味です。

二松学舎大学の教職員が実践として肝に銘じなければならぬのは、目の前の学生の能力や特徴をしつかりと把握して、学生たちを少しでも上へと成長させる講義・授業及び学生支援を行うことだと考えております。これは二松学舎大学がこれまで堅持してきた教育研究に対する基本姿勢であり、これからもそのことは変わりません。

以上、年頭の所感として、私の今後の大学運営についての決意の一端を表明させていただきました。本年が皆様にとって良いお年であることを祈念いたします。



過酷な状況にあるということをも日本国民が共有しなくてはならないと思います。少なくとも、日本社会の現状を打破しなければならぬという思いが大勢を占めなければ、社会よりも個人という価値観が広がってしまう今の日本人にあつては、大きな動きにはならないように思います。困難と激動の時代を体感し、将来に希望を抱ける政策を政治家に委ねるのではなく、各界の英知を集約する

ドルがあり、大変難しいものです。他大学でも同様の取り組みをしていることはご承知のことと思いますが、改革の進まない大学も数多くあります。内なる環境と外なる環境とがあり、それぞれに厳しいものがあるからです。しかし、二松学舎大学は、どんなに困難な状況にあつても、それを乗り越え改革を進めて行かなければなりません。社会的要請に応えられない二松学舎大学に明るい将来はないからです。



年頭所感

学校法人 二松学舎

理事長 大山徳高

新年おめでとうございます。父母会会員の皆さまには、お健やかに平成二十三年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃よりお寄せいただいております本学の教育研究活動へのご理解とご支援に対し心より厚く御礼申し上げます。

昨年の年頭のご挨拶でご報告いたしました、九段集約の進捗状況でございますが、平成二十三年度は、両学部一・二年生の二割程度が柏キャンパス、九段キャンパスには、三・四年生の全員、一・二年生の八割ほどが在籍することとなる見通しで、平成二十五年

度は両学部生全員が九段に集う予定になっていきます。しかし、九段集約の完結は、両学部、両研究科の改革なくしてはありえません。そこで、昨年十二月に「大学改革検討会議」を発足させ、約一年にわたり改革の内容を検討し、昨年十月末には答申書が提出されました。十一月、十二月と理事会の審議に付し、この一月から学長の下、具体的な改革計画の策定に入っております。

世界は急速に変化しています。国と国との関係、経済活動のあり方、

最近、幕末から明治時代のドラマが放映され、高い視聴率を得ているという新聞記事などをよく目にするの、幕末維新という激動の時代と、現在私たちの置かれている環境とに相通ずるものがあるからなのでしょう。近代日本の幕開けを飾った過去を顧みて、新しい時代の扉を開けるヒントを得たいと願う想いからでしょうか。

いずれにしましても、現代社会は

時期に入っているものと思います。次代を担いうる人材育成が大学の社会的責務でありますので、大学も変わらなければなりません。先述の「大学改革検討会議」答申書にも述べられていますが、「大学改革は不断に継続し進められるもの」でありま

す。新しい時代の大学とは何か、全学的に取り組み、新しい時代の二松学舎大学を創りたいと願っています。もちろん、実現するには様々なハ

ることになっていきます。これから先も楽観視はできません。日本の企業が外国に工場等を移す動きが活発化してきました。経済構造の変化に伴い、雇用対象も世界的になりつつあり、多国籍企業になっていきます。若い卒業生のみならずには、世界的競争社会に投げ出される時代になりました。一層の刻苦勉強を期待します。

結びになりましたが、関係各位のご健康とご多幸を祈念申し上げます。

◇思ったより安値でおいしいと思いましたが、学生がミーティングする姿も見られ、学校生活の情報場になっていてと思いました。机や椅子もきれいでいいと思います。◇とても安く、味もとても良かったです。

◇四〇〇円前後で定食などの料理をいただけるのはうれしいことです。メニューもボリュームがあります。特にメンチカツのソースはおいしかったです。

◇いつも利用させていただいてます。ありがとうございます。安くおいしいと子供には好評です。
(回答) 大学より
 学食の充実については、今後とも調査・改善を続けてまいります。

3.「就職状況」について

【九段校舎】
 ◇積極的に一年生から授業の様な形で学生に伝えられる就職支援してほしい。

◇たいへんありがたく拝聴しました。次回も同様におねがいします。特に時期的な関係で各学年今度あまり活動してない学生が、七月以降どうしたらよいか具体的に話していただくとありがたいです。(キャリアセンターの受講とか就活について)

◇教員採用の報告会も検討いただきたい。

◇内定報告については、三〜四名の学生と司会者で座談会風に進めることも検討して欲しい。

◇学生の生の声は、良いですね。具体的で分かり易い。

◇教員になられた方のお話が聞けたら志望されている方には、ありがたいと思います。(卒業された方等)より具体的に昨年度、本年度の求人状況や内定率等のお話しうかがいたい。

◇内定報告は、インタビュー形式にした方が、学生さんも話しやすいのでは？

◇大変大学のキャリアセンターは、よく指導してくださっていると感じました。
【柏校舎】
 ◇内定を勝ち得た方の生の体験を聞けて良かったと思います。親にしてみたら嬉しかった事、良かった事は、とても参考になりました。親として、どんなサポートができるか、また、どのような行動をとったらいいか、情報がありましたら、また教えて頂きたいと思いま

平成二十二年度 地区別父母懇談会 アンケート結果

平成二十二年七月三日(土)・十日(土)に九段校舎・柏校舎で開催された父母懇談会でのアンケート結果の一部をここに掲載いたします。

1.「懇談会」について

【九段校舎】

◇子供の通学している大学をよく知る機会が与えられ、良いと思う。
 ◇非常に良い話を聞かせて頂きました。
 ◇教育理念などしっかりと学校と安心しました。

◇本日は、細やかな説明どうもありがとうございました。できましたら、都合が無理かとも思いますが各専攻の先生方のお話しもあるとなおうれしく思います。
 ◇学長の話には、非常に安心した。就職のためにバイトをせよ(そこで活躍せよ)と指導する大学もあるそうなので、「何のための大学か」を世の中考え直すべきと思っただから。

◇来年度以降の九段校舎の混雑を懸念している。健康診断に異常な時間がかかったと娘が嘆いていたので、それについての説明がほしかった。
 ◇大学にもこのような会が毎年催されていることがわかり大変心強く



2.「学食」について

【九段校舎】

◇学食の体感という事で、今回は、お弁当の配布となりましたが、前回の学食の混雑状態と比べると、大変良かったと思います。

◇学食の体感という事で、今回は、お弁当の配布となりましたが、前回の学食の混雑状態と比べると、大変良かったと思います。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

【柏校舎】

◇すこよかった。とにかくよかったです。来年もまた来ます。楽しみにしています。

◇初めて参加させていただきました。大変環境のよい、落ち着いたキャンパスで、娘が「柏が好き」という意味がわかりました。会の内容としては、日頃お話をなかなか伺うことの出来ない先生方から熱い想いを聞かせていただけて良かったです。

◇大学の様子や姿勢を聴くことができよかったです。我が子は現在三年生在学ですが、就活などはまだ実感がないようです。出席された父母の方たちが真剣に質問し、考えていることに刺激を受けました。

◇会場は、お気軽に九段校舎で、懇談会では、限られた時間の中で、より多くの情報を皆様にお伝えしたいと思っております。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。



柏校舎 個別相談

柏事務課までお問合せ下さい。

2.「学食」について

【九段校舎】

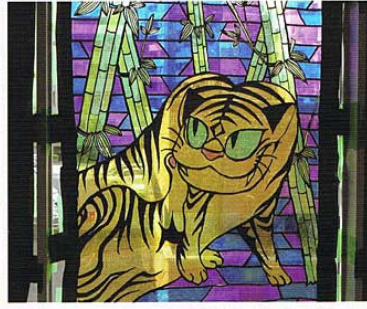
◇学食の体感という事で、今回は、お弁当の配布となりましたが、前回の学食の混雑状態と比べると、大変良かったと思います。

◇学食の体感という事で、今回は、お弁当の配布となりましたが、前回の学食の混雑状態と比べると、大変良かったと思います。

◇子供に言わせると、安くておいしいと評判でしたので、実際いただき、おいしく思いました。



九段校舎 地下1階 学生食堂



12Fリラックス体験コーナー

創縁祭



父母会役員

用意していたパンフレットが一日でなくなってしまうほどの大盛況でした。このような素晴らしい結果を得ることができたのは実行委員、各クラブ、サークル、ゼミ、父母会や松苓会、授業課をはじめとする教職員の方々が、常にこの創縁祭を運営するにあたって協力して下さったおかげです。この場をお借りしてお礼を申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。本当に有難うございました。

来年も更なる創縁祭の飛躍を目指して、実行委員だけでなく二松学舎が一丸となって学園祭を創っていきたくと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。

創縁祭が終わり、もう二カ月が経ちました。私たち学園祭実行委員は今年も多く時間を創縁祭準備のために費やしてきました。実行委員の人数が増えたことで、去年より多くの企画ができるようになったため、充実した学園祭にしようと必死に頑張りました。たくさんの方の助けを借りて、今年の学園祭も無事終了することができました。今年は来場者も増え

創縁祭を終えて

学園祭実行委員長

小堀 真緒



大学オリジナル商品

- 「松風」(クッキー)
- 「松が枝」(焼酎)
- 「東京都市文学散歩」
- 「明治10年からの大学ノート」
- ブランドケーキ



12F無料休憩所



中庭模擬店



中庭模擬店

今年の四年生の就職内定率が、「就職氷河期」を下回ったとの報道がされるなど、就職を取り巻く環境は、一向に改善される気配はありません。

今号では、まず最初に、本学学生の就業意識の低さ、キャリア支援の厳しい現状についてお伝えすることから始めなくてはなりません。

三年生への支援の先陣を切って、十一月二十七日(土)に茨城県内の企業十九社を大学に招いて、「学内合同説明会」を開催しました。茨城県内出身の三年生は八十名ほどですが、残念なことに参加者は三十数名という状況でした。

昨年度は五十名を超える学生が参加したことを考えると、非常に危機感を覚えます。学生のみならず、県内のご父母の方にもご連絡をさせていただきましたが、動員に結びつかなかったようです。「大学の紹介などなくても自分は大丈夫」と思っているのなら大きな間違いです。

また、十二月一日(水)には、「就職特別講座」において、企業の人事担当者十一名を招いて「模擬面接」を実施しましたが、一六〇名の登録のところ出席はわずか九十名という参加率の低さです。

模擬面接終了後、人事担当者の皆様と情報交換をしましたが、皆様に、学生の就職に対する意識が低いこと、明らかな準備不足の学生が多いことを挙げておられました。更には、参加した学生に対する今後の成長への期待とともに、不参加の学生に対しての危機感のなさへの嘆き・心配を私たちに申しております。

さらに十二月四日(土)には、千葉の幕張メッセにおいて千葉県内二九大学が共同で開催する「就活応援セミナー」が開かれましたが、全体の参加学生二七五〇名(午前・午後累計)のところ、本学学生は一五一名(同)でした。この人数は、昨年よりは若干多いものの、一位・和洋女子大学、二位・千葉工業大学の参加者の半分です。

この調子では、本学最大のイベントである、ホテルグランドパレスでの「学内合同企業説明会」も厳しい参加率が予想されます。

学生には、「学内での合同説明会に参加することが一番の近道である」と事あるごとに伝えておりますが、どうも危機意識が低いようです。むしろ「就職環境が悪いから就職が決まらなくて当たり前」と考え

キャリアセンターだより

ている様子が見受けられます。しかし、就職率が低いといっても、就職できる学生のほうがはるかに多いのが現実です。就職が決まらない原因の大半は、「何が何でも就職するんだ」という気概不足、「本人の就業意識が低い」、「事前準備をきちんとしていない」からです。それらはすべて自分自身の責任です。

キャリアセンターは最後まで支援は惜しまないと再三申しておりますが、自分で努力できない学生への支援はできかねます。今一度ご父母の皆様からも、キャリアセンター行事への積極的な参加をご指導願います。

四年生の就職支援につきましては、文部科学省の支援を受け、十月よりキャリアカウンセラーを配置し、指導の強化を図っています。現に十二月一日現在までに以前からの活動継続者も含め、三十名が新たに内定を獲得し、多くの学生が活動を継続して頑張っています。私たちは、最後まで諦めずに挑戦を続けている学生がいる限り様々な支援をまいります。さて、大学はこの後、長い春休みとなります。三年生はいよいよ個別

企業の説明会や筆記試験・面接などの選考がスタートします。二社の選考で内定し、活動を終了する学生は皆無です。ほとんどの三年生が六月頃まで活動することになります。ご父母にはお子さんの健康を気遣い、見守っていただきたいと存じます。そして就職活動がうまくいっていないようであれば、すぐにキャリアセンターに相談するよう、背中を押していただきたいと思えます。

一・二年生は、この長い休みをどう過ごすかが、今後に大きな変化をもたらします。まずは「大いに学び、大いに遊ぶ」ことが重要です。文部科学省「就業力育成支援事業」による新たな講座も開講する予定です。

また、部活動・アルバイト・ボランティアなどの学外での経験も貪欲に取り組んでください。企業が採用したい学生は、大学時代を通じて何かにチャレンジした経験者、アルバイトや部活動で成長した人、そしてそのことを自分の言葉で熱意を持って語ることをできる学生なのです。様々な経験を通じて、自分の将来について少しずつでも考えることができるよう成長してほしいと思います。

生涯青春!!

東京海洋大学 に入學して

海洋工学部 一年 長田 一隆

平成二十二年四月に六十二歳で、旧東京商船大学に入学した。海洋、船舶について学び、大型船の船長資格を取り、さらには、ヨットでの世界一周を夢見ている。

大学の授業は、月曜から金曜まであり、毎週試験のある英語や毎週レポート提出の科目がある。カッター訓練(救命艇を漕ぐ)や、スポーツの授業は、肉体的には厳しいが、精神的には癒される。土曜日曜は、予習復習に当てる勉強漬けの毎日である。

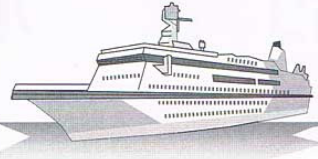
千葉県富浦での海洋実習(遠泳訓練)は、ブルで二十五メートルも泳げない私にとっては、脅威であった。しかし、元オリンピック選手の先生が專屬コーチにつき、コーチの指示どおり手足を動かすことによって、なんとか一時間泳ぎきることができた。

初めての乗船実習は、七月二十一日から八月二〇日までの一ヶ月、航

私達に勇氣と希望を与えてくれる。会員からのメッセージを紹介しませ

海訓練所の大成丸(約六〇〇トン、全長一二〇メートル)による航海訓練である。東京を出港し、小樽、東京、和歌の浦、神戸入港までの航海である。船内では、講義、操船訓練、当直、試験、椰子の実でのデッキ磨き等の毎日である。小樽入港時はブリッジ当番であったので、船長の指揮を目の前で体験することができ、船長の緊張を肌で感じ取ることができた。また、機関室当直は、四十六度の室温の中で四時間、まるでサウナに入っているようである。寄港地小樽の街並みのすばらしさや和歌の浦へのカッター(救命艇)による上陸訓練は、忘れがたいものである。

九月は前期試験、十月からは後期授業、平成二十三年二月から後期テストである。厳しい授業が続く中、夢の実現に向けて、自分自身と戦いの毎日である。



学生相談室 だより71
カウンセラー・教授 白石 まりも

卯年の始まりです。一年の計は元旦にあり!です。今年はどうな目標を立てられたのでしょうか。毎年、禁煙するぞ!と壁に張る方がいる位、禁煙は難しい事のようにです。禁煙区域が広がり、公共の施設や乗り物ではそのほとんどが禁煙です。タバコを嗜好している人にとっては、どんなん肩身が狭くなってきたようです。そこに追い討ちを駆けての値上げは、もしかししたら禁煙をしやすくしてくれそうですね。

大学生になると、飲酒の機会ができません。以前は、半ば強制的な一気飲みなどがありました。今はアルハラIIアルコールハラスメントという言葉が有るように、飲酒を無理強いする事は人命に関わる事であり、してはいけないのだと大学から発信もしています。大人になって始める遊びの一つに、ギャンブルがあります。パスの中などで学生が、パチンコやスロットの話をしているのを耳にする事が有ります。大抵は幾ら勝つ

反故にするなどしても行ってしまいうようになったら、危険信号です。借金が返せなくなったり、大学の出席が足りなくなり留年や卒業保留などとなる前に、お子さんのハマリ度をチェックしてみたいかがですか。ただし、ギャンブルをしている人は、勝つた事しいませんでください。

《林武志ゼミナール》

私たちは林武志ゼミナールは近・現代の文学作家について日々、研究をしております。

林先生の専門は川端康成であるが、それに留まらず古文、中世といった時代に与らわれない幅広い知識をお持ちであり、私たち生徒は常に先生の講義に耳を傾けています。林先生は授業の中でいつもこうおっしゃっています。ここに白と黒の二種類の意見があり、それぞれを主張する二人がいる

とする。白の意見を主張する者ははたして黒の意見を理解しているのか。はたまた、黒の意見を主張する者は白の意見を理解しているのか。二人の主張する立場は白と黒の意見を理解した上で、私は白か黒という意見の主張をしなければ、議論に値しない。つまり、近・現代を専門に研究するにあたっては古代、中世を理解していなければ近・現代も理解できるわけがなく、主張することも間違っている。と先生はおっしゃっています。まずは全体を理解し、そして初めて自分の意見を主張することができると。これは文学

ゼミ探訪

研究の枠だけでなく、いろんな物事にも当てはまると私は思います。林先生から学んだものは文学研究だけではなく、社会に出ていくうえで大切なことを学んだと思っております。私たちのゼミを一言で表すならまさしく「自由」です。様々な意見が飛び交い、理解できないことがあれば、理解するまで行う。授業とは関係がない話が出たとしても、終わりになるとみれば関係していた話だったというところもよくあります。そこには、どんな些細な問題でも発言することができ、「自由」という環境があり、林先生のご指導の賜物であります。

文楽鑑賞教室
一月〜三月も色々予定があります。

《白井ゼミナール》

私たち白井ゼミは、井原西鶴の作品を中心に近世文学を学んでいます。その年の人数によって異なりますが、基本的には四つのグループに分かれて発表の形で授業を行います。本文を数行進めては意見を出し合っており、皆で考えてゆく、理解が深められるように(発表者以外は、非常に楽しい形式です。その延長ともいえるのが年に一度のビッグイベント、学習会です。三、四年混合のグループ

を三つ作り、八月の合宿を中心に話し合った結果を発表し、討論するもので、全員の距離がぐっと近づきます。

勉強以外にも楽しい企画が盛り沢山です。その中でも「文学散歩」は事前に決めたコース(博物館やお寺や大名庭園など)を約半日かけて回る、アクティブなイベントです。ちなみに今年度の活動は

(四月) 文学散歩(五月) 鬼ごっこ
(六月・七月) 歌舞伎鑑賞教室
(八月) 合宿(九月) 学習会
(十月) 文学散歩(十一月) 文学散歩ブチ(十二月) ビデオシアター、

イベントが多いのは特徴ですが、更に大きな特徴として挙げられるのが「手製本」です。夏の合宿で使うテキスト、そのレポートをまとめた学年本、そして卒論などは全て自分たちの手で製本をします。慣れないうちは中々大変な作業で完成品もポロポロだったりしますが、コツをつかむと長持ちするししっかりしたものが出来上がります。

人数は少なめですがその個性を發揮できる場が多く、新たなチャレンジを行うには最適な環境で日々学



国文学科四年 石川 和貴
国文学科三年 滝澤 智美



交換留学生の声

平成二十一年度派遣留学生として、オーストラリア・シドニー工科大学に派遣された山田珠美さんから留学生生活の思い出、また平成二十二年度交換留学生として韓国の金仙英(キム・ソンギョン)さんから、日本での大

『The Invisible Treasures』 —世界を開く言葉—



文学部 国文学科 三年 美 山田 珠美

大量に入っています。どれも日本を出て大きく広がった私の世界を写した、非常に思い出深いものです。しかし、その写真たちよりも恋しいのは、友人らの写真を見て思い出す彼らの言葉です。時には勉強になり、また時には優しく支えてくれた英語日本語、そのほかの言語で与えられた温かい言葉たち。日本に留まっていたら、到底得られなかったであろうそれは、いまでも私の心に大きな感動を呼び、新鮮な見解をもたらします。例えば、北海道出身の日本語教育者志望の友人からは、若い方々の世界を言語教育を通じて広げる手伝いをするこの意義さを、オーストラリア人の友人からは、家族を愛することを恥ずかしがらず、むしろ誇りに思うべきだということを

十か月の留学を終えた私のパソコンには、留学期間中、かかさずカメラを持ち歩いて撮り溜めた大学、パティ、旅行などの写真が。私の周囲の人々は、トランクから出したオーストラリアの品物と、外見的に垢ぬけたらしい私の成長をお土産として喜んでくれます。しかし、本当に大切な友人たちの言葉というお土産は、私の心の中にのみ存在しています。私はこれら目に見えないものを、この先ずっと道標に守っていきたいと思うのです。

“私が思った充実した留学生活とは。”



成均館大 金 仙英

現在、私は二松学舎大学の国文学生として、近現代文学作品に表わされる明治時代以降の「日本らしい」文化の考察をすすめるかたわら、小学校英語指導者資格の取得を目指して教育法を学び、渡豪前、趣味で始めたドイツ語に、今度は第二外国語として本格的に取り組み、また留学で得た英会話力を活かせる外資系企業でアルバイトをしています。これはシドニーで友人らに出会う前の私の世界には存在し得なかった選択肢です。

私の周囲の人々は、トランクから出したオーストラリアの品物と、外見的に垢ぬけたらしい私の成長をお土産として喜んでくれます。しかし、本当に大切な友人たちの言葉というお土産は、私の心の中にのみ存在しています。私はこれら目に見えないものを、この先ずっと道標に守っていきたいと思うのです。

私は今回の来日が初めてではありません。実は五回目です。二〇〇七年の冬と夏休みには旅行で、二〇〇八年は政府間青年交流プログラムで、去年は神戸大学での夏期研修と何回も来たことがあります。周りの人や親から「日本は何回も行ったからもう十分じゃない」とも言われましたが、実際に日本に住んでみると旅行したときとはかなり違いました。旅行の時はただいい所行きたい所だけを選んでおいしい食事をして気に入っただけを買ったことができた。今回も初めての一月は旅行のときのようにただ日本を楽しむだけでいい。

とところがある日ふと、毎日旅行気分が過ぎることではできない。さもないと韓国に帰るときは何も残らないんじゃないか、という不安な気持ちになりました。そこで今自分でできることだけはやってみようと思えました。

それで真剣に考えたのが日本語の勉強でした。まだ日本語を勉強して三年にもならないので、日本に来てもなかなか思ったように日本語がうまく使えなくてがっかりしていた私を感じたことは、日本に来て自分も努力しなければせっかくの留学の意味がないということでした。

でも毎日勉強というのははちょっと残念だし、旅行が好きなら私にはせっかくの日本だから韓国では忙しくてなかなかできなかった旅行もあきらめることができませんでした。私が出した結論は平日には一所懸命勉強をして、週末には自由に日本を楽しむということでした。今私は好きな日本語を思い切り勉強できることがすごく楽しいです。日本にいれば、誰でも私の日本語の先生になるし、特に本ではなくてもただ見たら聴いたりするだけでも勉強になります。

来年、韓国に帰ったらすぐ四年生になって就活をしなければなりません。日本で勉強して自分なりにいろいろ学んだことが今後の私の人生できつと役に立つと思います。残された留学期間は短くなりそうですが、これからも成長する自分を楽しみにしながら、日本語の勉強も日本での大切な思い出作りも充実させたいと思います。

大学の講義を受講してみませんか

二松学舎大学には、科目等履修生制度があり、大学の授業を広く一般の皆様にご利用しています。科目等履修生制度とは、大学で開講している授業科目(一、二科目)を学生と一緒に受講し単位も取得できる制度です。

本学学生のご父母の皆様、生涯教育の一環として一人でも多く大学の授業を受けて頂きたいとの趣旨から、登録料の免除、科目等履修料の減額措置を講じております。この機会に、是非お子さんと一緒に大学の授業を受けられるこ

卒業パーティーの開催について

父母会主催の卒業パーティーが本年度も開催されます。本年も昨年同様、会場は「帝国ホテル」です。盛大なパーティーとなることを期待しております。

父母会が発足して十七年、卒業パーティーも十五回目を迎えました。文学部・国際政治経済学部の卒業生の皆さんには、法人役員・教職員を加えて楽しいひとときをお過ごしください。

と思います。

卒業式が終了しましたら、卒業生の皆さんお誘いあわせの上、帝国ホテル「孔雀東の間」までお集まりください。

【日時】

平成二十三年三月二十五日(金)
午後二時～四時

【会場】

帝国ホテル
「孔雀東の間」



とをお勧め致します。内容は、次の通りです。

■公開科目

学部・大学院で開講している授業科目のうち、原則として演習科目を除く授業科目を公開いたします。

■募集要項

平成二十三年度の募集要項についてのお問い合わせは、二月になりましたからお願い致します。

■受講料

一科目 通年科目 三万円

半期科目 一万五千元

■問い合わせ先

二松学舎大学教学課・柏事務課

卒業アルバム掲載 個人写真提出のお願い

卒業アルバムは父母会より全卒業生に贈呈します。卒業アルバム用の個人写真を大学で撮影できなかった方は、左記の要領で教学課(九段校舎)へ、ご提出いただきますようお願いいたします。

再度、ご家庭で学生本人にご確認下さい。

●写真サイズ 縦4cm×横3cm
(証明写真でも構いません)

●提出締切日

平成二十三年一月二十九日(土) 必着

なお、ご提出いただけない場合は、学生氏名のみ掲載となりますことをご了承下さい。

※郵送の場合は、必ず学生番号と学生氏名を写真裏面に記入下さい。
※詳しくは教学課(九段校舎)までお問合せ下さい。

〇三(三三六) 七四〇六



編集後記

会員の皆様あけましておめでとうございます。皆様それぞれに、良い新年を迎えられたと思います。昨年は天災は少なかつたけれども胸を痛める話題の中で、チリ鉱山での救出劇には、世界中が希望を見いだし見守りました。経済面では、一九九五年以来の円高が続く景気回復の光明が見えない状況が続く、不況の中就職活動は困難を究めております。会員の皆様もお子様の進路には不安もありますが、キャリアセンターでは、多くの情報を持っています。学生は積極的に活用して、少しでも希望を抱いて頂きたいと感じました。そして父母懇談会の内容について例年同様詳しく載せておきましたのでお読みください。

大学の「創縁祭」に参加いたしました。「談話室」に在籍者や入学前の見学等の保護者の方が多数立ち寄ってくれました。会報では伝えきれない学校の雰囲気や理解できる機会であり、また就職活動に臨む子供との会話に活用できると思います。

昨年、編集後記で紹介しました「東京海洋大学」に入学された会員の談話が掲載されています。「生甲斐勉強」の姿勢には、改めて敬服致します。